

まき倶楽部

5

2017
May

平成29年度 新規学卒者34名入職いたしました!



本年度は新規学卒者34名が清翠会の職員として仲間入りいたしました。
専門職として精一杯研鑽し皆様のお役に立てるよう頑張りますので
どうぞよろしくお願い申し上げます。



第18回 牧病院地域連携の会

(牧病院) 01

『第1回 地域のリハビリテーション症例検討会を開催して』

(牧訪問看護ステーション/まきデイサービスセンター) 02

平成29年4月1日より、牧ヘルスケアグループの「理念」と「ロゴマーク」が
新しくなりました! / 「新病院工事進捗レポート」

(清翠会) 03

新入職医師のご紹介

(牧病院) 04

季節の食材 ~そば~

(小山病院) 05

ひとり一人が考える「生と死」

(牧病院) 06

vol.108

地域社会と共に歩む
牧ヘルスケアグループ

歩いて脳力アップ

記憶力の維持や認知症の予防にウォーキングが効果的という研究結果が話題。天気の良い日は、お散歩で脳力を鍛えましょう。



Medical for Happiness
牧ヘルスケアグループ



地域の医師や医療関係の方々と 最新の医療情報を共有して



理事長:牧医師



院長:吉田医師



副院長:中谷医師



整形外科部長:山口医師



地域連携部長:大嶺医師



整形外科:伊藤医師

第18回 牧病院地域連携の会

第18回牧病院地域連携の会を平成29年2月18日(土)アゴーラ守口大阪に於いて開催いたしました。当日は、地域の先生方や医療関係者、約67名の参加者が熱心に聴講されました。

開会のご挨拶では、理事長の牧恭彦医師が当院の概要および今後の法人の動きなどを説明し、その後、昨年春に入職の麻酔科の池田慈子医師、トラバリーファラ医師をご紹介いたしました。

学術講演は、「整形外科の昔と今」をテーマとして当院の整形外科部長の山口拓嗣医師が疾患ごとの術式や医材料の移り変わりについて、整形外科の伊藤昭裕医師より「リウマチ疾患の現状と筋膜リリース治療」について講演しました。質疑応答では、村上整形外科の村上仁志先生がリウマチ疾患や筋膜リリースについて質問され、伊藤医師がスライドを示しお答えしました。

続いて、副院長の中谷武嗣医師より、「末期心不全治療(心臓移植と補助人工心臓を含む)の現状と展望」について講演いたしました。高齢者の「末期心不全患者」が急増しており、地域の中核病院として高機能病院との連携は今後ますます大切になると感じました。質疑応答では、安田クリニックの安田正幸先生から当院に対して感謝の言葉をいただき、和やかな内に意見交換は終了いたしました。

最後に院長の吉田隆医師が、閉会のご挨拶を行い、懇親会では、参加者との情報交換、名刺交換など行われ、盛況裡に終了しました。

牧病院
地域連携室
Yayoi Nishioka
西岡 弥生



交流・連携と知識や技術の向上をめざして



『第1回 地域のリハビリテーション 症例検討会を開催して』

「地域包括ケアシステム」という言葉をご存知でしょうか？

日本人の平均寿命が伸び続け、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが予想されます。このため、厚生労働省は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り「住み慣れた地域」で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

高齢者が「住み慣れた地域」で介護や医療、生活支援サポートおよびサービスを受けられるように、「住まい」、「医療」、「介護」、「生活支援・介護予防」を整備し、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供ができるような体制作りが重要となってきます。

そこで旭区、鶴見区、城東区、都島区、守口市で、地域のリハビリテーションに関わる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、地域リハに興味のある方々との交流・連携、知識や技術の向上を目的に、『第1回 地域のリハビリテーション症例検討会』を開催しました。

当日は48名の参加者が、1つの症例を様々な立場から検討し、会が終了してからも、活発に情報交換を行っている姿が印象的で、地域のリハ専門職の交流と連携の場として症例検討会を継続する必要性を強く感じました。今後は訪問看護師やケアマネジャーといった職種にも参加していただき、多職種交流の症例検討会に発展できればと思っています。

次回は6月23日（金）に開催を予定していますので、興味のある方は参加してみてください。

『第1回 地域のリハビリテーション症例検討会』 (終了しました)

【日 時】平成29年2月24日（金）

【演題名】『パーキンソン患者の食事動作 -ICFモデルで考える活動向上への取り組み-』

【発表者】山下 耕平（まきデイサービスセンター／牧訪問看護ステーション 理学療法士）

『第2回 地域のリハビリテーション症例検討会』

【日 時】平成29年6月23日（金） 18時30分～20時

【会 場】まきデイサービスセンター

【演題名】デイサービスセンター利用者の事例を提示する予定です

【発表者】磯部 和久（まきデイサービスセンター 理学療法士）

牧訪問看護ステーション/
まきデイサービスセンター
理学療法士
Dai Akebi
明比 大



平成29年4月1日より、牧ヘルスケアグループの「理念」と「ロゴマーク」が新しくなりました!

新しい理念について

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生をさせるために

牧ヘルスケアグループは、地域の医療機関、介護事業所などと密接な連携をとり、予防から急性期、回復期、維持期、在宅の機能を担う「地域完結型の保健・医療・福祉複合体」として、みなさまの幸せな暮らしを支え続けます。私たちは「Medical for Happiness」の実現をめざしています。

新しいロゴマークについて



Medical for Happiness
牧ヘルスケアグループ

「Medical for Happiness」の理念をデザイン化。未来へ向かい成長していくことを示し、牧ヘルスケアグループの頭文字である「M」をモチーフに、「支える人のつながり」や「地域に根差す法人」を表現しています。

「新病院工事進捗レポート」

新病院開設に向け、昨年11月19日に地鎮祭を執り行い、いよいよ工事が始まっています。

開設後は整形を主とし、手術機能を強化した専門性の高い病院を目指していきます。

現在は1階部分基礎工事の準備を行っています。つい先日まで何もない平地だったのが、多くの重機が頻繁に出入りし、日がたつごとにどんどん賑やかになってきています。

先日、工事中に大阪市教育委員会の試掘調査(いわゆる埋蔵文化財が発掘されるような土地かどうか判断する調査です)があり、埋蔵文化財が発見される土地であることがわかりました。一時的に工事をとめ、本年1月23日から2月初旬にかけて文化財本掘作業が行われました。

文化財自体は「関目遺跡」と呼ばれ、中世から近世にかけて、今回の建設予定地に集落があったようです。調査では水路跡や当時使用されていたキセルや瓦の破片などが多数発見されました。

また、大阪市教育委員会にも協力いただき、近隣の小学生を招いて文化財の見学会も開催しました。

新病院は工事が順調に進めば、平成29年12月～翌年1月にかけて引き渡しの予定です。



建設地から
中世(鎌倉・室町)～
近世(安土桃山)の
集落遺跡を発見!



新入職医師のご紹介



寒川 翔平 (そうがわ しょうへい) 牧病院 整形外科

本年4月より牧病院整形外科で勤務することになりましたと寒川翔平と申します。平成26年に関西医科大学を卒業し、2年間の初期研修を経て同大学整形外科へ入局しました。

これからも患者様のADLの改善を目指し日々診療を行っていく所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。



安田 恒秀 (やすだ ただひで) 牧病院 内科

4月より内科(非常勤医師)に赴任しました。

私は昭和59年に関西医科大学を卒業し、以後いくつかの病院で勤務してきました。学生時代は守口市に下宿し、また旭区の病院にも勤務したことがあるので、内環状線は自転車とファミリーバイクで宅配便のように走り回っていました。牧病院周辺も様変わりして、あのころの食堂、レストランが今では見られないのが寂しい限りです。

元々は消化器内科の出身ですが、牧病院では一般内科を担当します。私の診察におけるモットーは病気を画一的に治すこと以上に、患者さんの症状を和らげるためその人に合った治療方法を患者さんと相談しながら一人ひとりに合わせることで、病人の悩み、心配ごとを減らすことのできる診察を続けたいということです。

さて仕事以外では、スポーツは以前テニススクールに通っていましたが、2年前よりテーブルテニス(普通に言えば卓球です)に変わり、球を拾うたびにフウフウ言ってます。魚を見ることも好きで、海外でスキューバダイビングをしながらクマノミやマンタを見ていましたが、今は玄関の水槽を泳ぐグッピーに癒されています。でも実は夜中にバーボンソーダを片手に小説や旅行記を読むことが1番の楽しみです。

牧病院では院長先生はじめ多くの専門の先生がおられるので、アドバイスを聞きながら診察に専念したいと考えています。よろしくお願いいたします。



西村 直矢 (にしむら なおや) 牧病院 内科

4月より非常勤として内科に赴任しました西村直矢と申します。生まれも育ちも福岡でこれまで九州から出たことはありませんでしたが、この度2017年2月に大阪へ引越し、4月より勤務をさせていただいています。

感染症と膠原病・関節リウマチなどの自己免疫疾患を専門としておりますが、現在は大阪大学微生物病研究所/免疫学フロンティアセンターで免疫学の研究をする傍ら、週1回外来を担当させていただいております。

まだまだ不慣れな点も多く、色々ご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



そば

今回は「そば」。
暑い時はツルツル、サッパリ、
冷たい麺がおいしいですね。

小山病院 栄養科
Yoshiko Arie
有井 佳子

食感なら白いそば、風味なら黒いそば

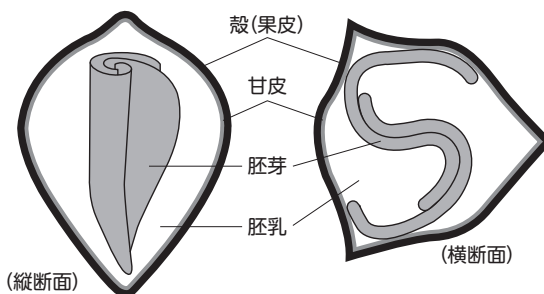
殻のついたままの「玄そば」は外側から中心に向かい殻（果皮）、甘皮（種皮）、胚乳部、子葉部（胚芽）の順序で構成されています。そば粉を作るには殻（果皮）を取り除いた部分「そばの実」を段階的に挽きながら篩い分けて数種類のそば粉にしてきます。

まず「そばの実」を軽く粗挽きし、篩にかけると、柔らかい胚乳の中心部が主体の白い粉（一番粉）がとれます。さらに挽いてくと（一番粉）にならなかった胚乳部や子葉部が砕け淡い緑色の（二番粉・中層粉）、甘皮の部分が

多く繊維質が多く含まれる（三番粉・表層粉）、甘皮や子葉部からなる最後に挽かれる（末粉）がとれます。また、「玄そば」を挽き篩にかけた「田舎そば」もあります。

（一番粉）で打ったそばの色は白く、“しゃきつ”とした食感です。（二番粉）（三番粉）と次第にそばの風味や香りに優れ、色が黒く食物繊維等を多く含むので、食感もそつ“とした感じになります。食感を楽しむなら白いそば、風味を楽しむのなら黒いそばを味わってみてはいかがでしょうか。

〈そばの実の構造〉



ぜひ「そば湯」もお楽しみください



「うどん」に比べて「そば」（特に黒いそば）にはビタミンB群が多く、「疲労回復ビタミン」といわれるビタミンB1、皮膚や粘膜を健康に保つビタミンB2が含まれます。食物繊維、ミネラルも豊富で、ポリフェノールの一種である「ルチン」は抗酸化作用に優れており、活性酸素の発生を抑える働きがあります。これらは、水に溶けやすいので「そば湯」もおすすめです。

ガレット（そば粉のクレープ風）にチャレンジ！

（材料／約5枚分）

- そば粉 150g
- 塩 小さじ1/4
- 水 250ml
- 溶き卵 1個分

具（1枚分）

- 卵 1個、
- ピザ用チーズ 適量
- ハム 1枚

（作り方）

- ①材料を良くといて、冷蔵庫で1時間以上寝かせる。
 - ②フライパンの上に薄くのばして焼き、中心に（具）の卵を割り入れ、ハム、チーズをのせる。
 - ③チーズがとけ、外側の生地がフライパンから浮き上がってきたら、四角になるように周囲を折りたたむ。
- ※具は他にも、サラダ、ソテーしたきのこ類や野菜、サーモン、ジャム、など色々お試しください。



参照：【みんなの今日の料理】【北東製粉株式会社】



ひとり一人が考える「生と死」

これからの地域社会がめざすべき姿

『超高齢多死時代』を迎える2025年まで10年を切りました。厚生労働省は、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の実現により、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようになることを、これからの地域社会がめざすべき姿として掲げています。

私は30年以上前に、元上智大学教授でドイツ人であるアルフォンス・デーケン先生から、「生と死」「死の準備」など、まだ日本人が目向けようとしていなかった「死」について語られる講義に何度か参加する機会を得ました。すでに家族や患者さまの死に立ち会う経験をしていましたが、デーケン先生のように「良く生きることがよき死と出会うこと」といった考え方を正面から聞くことが初めてで、深く心に残る出会いでした。しかし、それでも30歳そこそこであった私には、やはり“死”は、自分から遠いものであったと最近つくづく思います。

今病院では、治療の選択、意思決定、自律と尊厳の保持など、「生と死」に対する支援の場面は多くありますが、それらの場面が分断されることがないようにしなければいけないと考えています。また、病院・施設・在宅の垣根を越えて、すべての人々がどう生き、どのような死を迎えたいかについて考え語り合える機会や場所があり、保健・医療・福祉の専門職と地域の人々が互いに想いを伝え、支え合える地域を創るためには、ひとり一人が考え実践することが必要ではないかと思えます。

牧病院
看護部長
Mami Utsunomiya
宇都宮 眞美



牧ヘルスケアグループ各施設の所在地

- 牧病院
〒535-0022 大阪市旭区新森 7-10-28
TEL.06-6953-0120 (代) FAX.06-6953-7006
- 牧病院デイケアセンター
TEL.06-6953-1881
- 牧病院訪問リハビリテーション
TEL.06-6953-6852

- 牧リハビリテーション病院
〒571-0015 門真市三ツ島 3-6-34
TEL.072-887-0010 FAX.072-887-0130
- 牧リハビリテーション病院デイケア門真
TEL.072-887-0050
- 牧リハビリテーション病院訪問リハビリテーション門真
TEL.072-887-0010
- 健康増進施設ウイング門真
TEL.072-887-0055
- 牧鍼灸院(温熱療法)
TEL.072-887-0088

- 守口第5地域包括支援センター
〒570-0033 守口市大宮通 1-13-7 TEL.06-6992-1180
- 旭区東部地域包括支援センター
〒535-0022 大阪市旭区新森 4-27-13 TEL.06-4254-3336

- 法人本部
〒535-0021 大阪市旭区清水 2-11-14 TEL.06-6953-0190

- 牧老人保健施設
〒535-0004 大阪市旭区生江 2-15-14 TEL.06-6929-0300
- まきグループホーム
TEL.06-6929-5355

- おとしよりすこやかセンター北部館
〒535-0031 大阪市旭区高殿 6-14-41 TEL.06-6955-4865
- おとしよりすこやかケアプラザセンター北部館
TEL.06-6955-7511

- まきグループホームロイヤル
〒535-0021 大阪市旭区清水 4-2-22 TEL.06-6951-1370
- まきデイサービスセンター
TEL.06-6953-1506
- 牧訪問看護ステーション
TEL.06-6953-1222
- 牧ヘルパーステーション
TEL.06-6953-1107
- 牧けあぶん清水
TEL.06-6953-1235
- 牧ふくし用具
TEL.06-6958-1030
- 牧訪問看護ステーション 高殿出張所
〒535-0031 大阪市旭区高殿 6-18-41-107 TEL.06-4254-6660
- 牧訪問看護ステーション守口
〒570-0028 守口市本町 1-7-21-102 TEL.06-6991-5556
- 牧けあぶん守口
TEL.06-6991-5557

- 小山病院
〒546-0001 大阪市東住吉区今林2丁目2番1号
TEL.06-6751-9551 FAX.06-6751-3169
- 小山病院訪問リハビリテーション
TEL.06-6751-9551

外来診療担当医表

平成29年5月1日(月)～

		月	火	水	木	金	土	
午前診 (受付開始) 8:00～ (診療時間) 9:00～12:00	整形外科	1診	牧恭彦	徳永裕彦 (股関節・人工関節)	牧恭彦	木下理一郎	片山幹	西田晴彦
		2診	外山雄康	寒川翔平	第2・肩・スポーツ 筒井廣明 第1.3.4.5 山口拓嗣	外山雄康	山口拓嗣	寒川翔平/ 片山幹 (隔週)
	外科	3診	佐藤睦哉	二階堂任	佐藤睦哉	佐藤睦哉	廣岡智	松井康輔 (第1.3.5) / 廣岡智 (第2.4)
	内科	4診	吉田隆 (消化器内科)	中谷武嗣	井田公一郎	神谷瞳	井田公一郎	中谷武嗣
		5診	吉尾拓朗 (循環器内科)	安田惟秀	足立昌司	西村直矢	足立昌司	吉田隆 (消化器内科)
夕診 (受付開始) 16:00～ (診療時間) 17:00～19:30	整形外科	1診	外山雄康	寒川翔平	加茂智裕	木下理一郎	根岸宏一	
	外科	3診			八田雅彦 (第1.3.5) / 吉田明史 (第2.4)			
	内科	4診	吉田隆 (消化器内科)	吉尾拓朗 (循環器内科)		野田哲平 (循環器内科)	太田垣宗光 (循環器内科)	

◎月曜～金曜・土曜日(午前診のみ) ※都合により担当医の変更、休診、診療開始の遅れ等が予告なしに起こる場合がございます。その場合は、院内掲示及びホームページ(PC版)にてお知らせさせていただきます。何卒ご了承ください。

予約診	内容	担当医	時間	備考
火曜日・内科4診	大嶋太一	14:00～16:00	第1.3.5・予約制	
木曜日・内科4診	田中秀一	14:00～16:00	漢方外来・予約制	
金曜日・内科4診	大嶋太一	14:00～16:00	予約制	
金曜日・内科5診	牧典彦	14:00～16:30	予約制	
金曜日・整形外科1診	片山幹	13:00～14:30	脊椎外来・予約制	
金曜日・整形外科2診	山口拓嗣	15:00～17:00	スポーツ外来・予約制	

牧病院

〒535-0022 大阪市旭区新森7-10-28
Tel.06-6953-0120



認知症認定サポーター養成講座を開きませんか?

5名以上集まれば、講師を派遣致します。

※認知症サポーターとは? 認知症を正しく理解し、認知症の人や、その人を取り巻く家族の良き理解者となる存在です。

受講料は
無料です

◎詳しくは下記地域包括支援センターまでお問い合わせください。

旭区東部地域包括支援センター

守口第五地域包括支援センター

～大阪市旭区～ ☎06-4254-3336

～さつき(旧春日)、橋波、三郷各地区～ ☎06-6992-1180

牧ヘルスケアグループ 特定医療法人清翠会

私たちの理念

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

私たちの約束

- 『Professional』 医療人としての誇りと謙虚さをもち、日々研鑽を重ねます。
- 『Heart』 あたたかい思いやりの心とともに、あなたに寄り添います。
- 『Team』 和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

編集後記

春の花粉シーズンがやっとひと段落、ホットしている方も多いのではないのでしょうか?しかし私の娘は“ブタクサ(雑草の一種)”アレルギーの為、ほぼ一年中油断大敵。行楽シーズンとて草むらに入ろうものなら、盛大にくしゃみの連発、目は充血してきます。いつの頃からでしょうか・・・花粉症なるものが世の中を騒がせ始めたのは・・・ (A.I)

URL <http://www.maki-group.jp>

発行日 2017年5月1日
発行者 特定医療法人清翠会

編集者 法人広報委員会
編集・印刷 株式会社 一心社



この広報誌は、メディアユ
ニバーサルデザインに配慮
して制作しております。